

# ともしび

2013

4月



厳しい冬の寒さから、暖かな春の日差しに変わる季節となりました。時が経つのは早いもので、私もともしび法話会の一員となつてから、一年が過ぎました。

春は卒業式や入学式などが様々な場所で行われるように、出会いと別れの時期です。例にもれず、私たちのメンバーも二名が法話を卒業しました。別れというのはいつになつても物悲しいですが、出会いもまたあります。今年度は新たに二名のメンバーを迎えました。この二名は、私が永平寺で修行していたときの先輩にあたります。なんと今年は全員が永平寺で修行したことのある仲間がそろいました。この偶然には非常に驚きましたが、寝食を共にした縁を活かしまして、今まで以上に仲の良い法話会にしていきたいと思えます。

まつば ゆうぜん  
〈松葉 裕全〉

# 仲 間 で す



たざわ げんこう  
**田澤 玄幸**

この度、ともしび法話会の一員となりました北海道磯谷郡出身の田澤玄幸と申します。

駒澤大学にて学んだ後、大本山永平寺にて三年間修行させていただきました。永平寺ではとにかく仏様の教えを体で覚えることが多かったのです。これからはより一層勉強の方にも力を入れて、これまで経験できなかったことにも積極的に取り組んでいきたいと思っています。永平寺で自らが体験したことを踏まえて、

**年齢…25才**

**出身…北海道**

**好物…ラーメン**

**趣味…散歩・料理**

**自慢…スポーツ。特**

**に野球などの球技が**

**得意です。**

駒澤大学で学んでいたころとは違った視点から仏道を学び、お釈迦様はもとより道元禪師、瑩山禪師けいざんの教えを一から学び直して、僧侶として仏法を伝えていきたいと思っています。

今までお世話になった方々やこれから出会う多くの方々、一人ひとりとの出会いを大切にし、より良いともしび法話会となるよう頑張りたいと思います。

よろしくお願いたします。



【3】

# 私達の新しい



むらかみ こうりゅう  
**村上 光龍**

はじめまして。熊本県天草市出身の村上光龍と申します。駒澤大学を経て、今年の三月まで大本山永平寺で御開山道元禅師の教えを二年間学んできました。その中で、熊本にいるたくさんの方の檀信徒の皆様のおかげと励ましがあって、今に至っていることに気づきました。道元禅師の教えの中に、ししやうぽう四摂法ししやうぽうと言う四つのお示し(施すこと・やさしい言葉をかけること・手助けをすること・相手を思いやること)があります。その教え

を念頭に入れて、これまでいただいたご恩を多くの方々に返していきたい、そんな生き方をしたいと思っています。

四月からはたくさんの方々とお会いしながら、たくさんの方の事を学び、少しでも多くの方に私が学んできた道元禅師の教えを知っていただけるよう努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

**年齢…25才**  
**出身…熊本県**  
**好物…パスタ**  
**趣味…買い物**  
**自慢…温かい家族と**  
**温かい檀信徒の皆様**  
**が私の自慢です。**

## ともしび法話会より

今年度最初の「ともしび法話会」、花祭りの法要を皆さんと共におつとめし、無事に新年度のスタートを切れたことをとても嬉しく思っております。

今年度も皆さんと共に楽しい時間を過ごせるよう歌やレクリエーションなどを企画し、より一層親しみやすい法話会を目指してまいります。

さてこの度、いつもお配りしている機関誌『ともしび』の今年度の誌面内容をご紹介します。

まず一面は、季節ごとの風景や行事、また私たちが是非ともご紹介したいと感じた情景を写真に収め、あふれる季節感をお届けします。

そして二・三面は「修証義をよむ」と題し、『修証義』というお経の中から一節を取り上げて、お話をします。このお経は、ともしび法話会でご供養の法

要を行う際、いつも皆さんと一緒にお唱えしているお経です。少しでもその教えを実感していただけるよう、分かりやすくお伝えしたいと考えています。

四面は、昨年度から引き続き「わたしのふるさと」と題し、メンバーの生まれ育った地元ならではのものをたくさんご紹介します。

新たなメンバーで心機一転、今年度も張り切って「ともしび法話会」を行っていききたいと思えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

〈日比 博英〉



〒105-8544 東京都 港区 芝 2-5-2 曹洞宗宗務庁内  
曹洞宗総合研究センター 教化研修部門 一般教化課程  
ともしび法話会

TEL 03-3454-6844 FAX 03-3454-7180

2013(平成25)年 4月1日発行 第373号